

シリーズ教育相談

Q&A 「友達と関わる力を育てるために」



Q

小学校3年生の母親です。以前、息子は一方的に話をしてしまって友達を怒らせてしまいました。その友達とは仲直りしているのですが、学校の先生からはそれ以降自分から友達の輪に入っていくことが減り、一人で過ごすこともあると聞きました。家でも少し元気がないように感じます。親としては、上手に人と関わって友達を増やしてほしいと思うのですが、何か家庭でできることはあるでしょうか。

A

お子さんの学校の様子を知り、対人関係に関して心配されているのですね。友達との関わりが思うようにいかないことから、もしかしたら自信をなくしてしまっているのかもしれません。まずは、お子さんの気持ちに寄り添うことから始めてみてはどうでしょうか。話を聞いてほしいそうなどときには、否定せずにしっかり聴くと良いでしょう。上手いかなくて困っていることや「本当はこうしたい」という思いを聴くことも大切です。

また、コロナ禍の今、密になることを避けるために、人との関わり自体が減ってしまっていて、人とどう関わっていけば良いかわからないお子さんもいるかもしれません。そのようなお子さんのためにも、家庭の中でお手伝いをお願いする等、会話や関わる機会を増やしていくと良いでしょう。

そして、お子さんが人と関わる上で大事にしてほしい

ことを、保護者が意識しておくといいでしょう。例えば、人の話を最後まで聞くことなど、お子さんとの関わりの中でお手本を見せたり、「お母さんの話も聞いてくれる?」と相手の話を最後まで聞く経験を積むことができるようにしたりするなど、自然に生活の中に取り入れることができます。「聞いてくれてありがとう。うれしかったよ」など、できた時にはしっかり褒めると良いでしょう。やり取りの楽しさを感じたり、人と関わって良かったという思いにつながったりします。もしかしたら、できたことを友達との間でやってみようと思うかもしれません。

大事なことは、お子さんが人と関わる楽しさを感じて、やり取りすることに自信をもてるようになることです。できなかった時に注意するというより、「失敗しても大丈夫。次はどうしたらいいかな」と一緒に考え、友達と関わる力を育てていきましょう。



令和4年度から全ての県立特別支援学校が「交流籍」を活用した居住地校交流を行っています!



リーフレットは
こちらから

居住地校交流とは、交流及び共同学習の1つで、特別支援学校の児童生徒が、居住地にある小・中学校に出掛け、小・中学校が通常行っている教科等の授業に参加し、共に学んだり、様々な学校行事等と一緒に参加したりする「直接交流」だけでなく、学校により、学級により、作品、手紙の交換、ウェブ会議システムを利用した交流などを行う「間接交流」も行っています!共生社会の実現に向けて特別支援学校と小・中学校、双方の児童生徒の成長につながる学習活動を行っていきます。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」



「いつもと違う」「話をしなくなった」「目を合わせなくなった」など、いつもと違う子どもたちの変化に気づくとともに、薬物使用の誘いを断るスキルを身に付けていくことが重要です。

パンフレットは
こちらから



「NO!といえる勇気を持とう」(中学生用)
(公益財団法人 日本学校保健会)

職場のみんなと話してみませんか? 家庭のこと、子育てのこと

家庭教育企業出前講座

県内の企業等を対象に、子育てのヒントや人との関わり方等、家庭教育に関する講座を「働いている時間に、働いている場所へ」無料でお届けします。



おすすめポイント!

- *派遣料無料
- *専門講師派遣
- *オーダーメイド(内容・実施方法・講座時間等)
- *職場で開催
- *満足度100%

- ☆家庭や子育てについてもっと知りたい!
- ☆他の人はどうしているんだろう
- ☆学びたいけど、忙しくて参加できない...

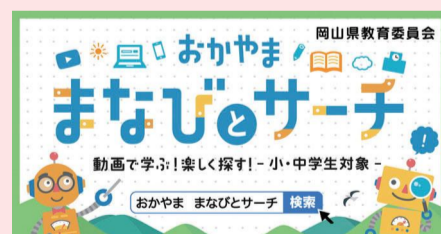
という保護者の方にぴったりです!職場でできる学びの場です!

子どもやパートナーとの関わり方、子育てと仕事の両立についてなど、様々なプログラムがあります。参加者からは、「楽しかった!」「先輩ママ・パパの話がとても参考になった!」「今後も悩んだら話を聞いてもらいたい!」など、従業員同士の連帯感が生まれたり高まったりしています。職場で講座を開催したいと思われましたら、ぜひ、お申し込みください。

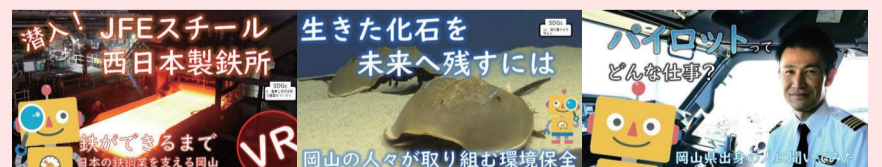
・プログラム例紹介
・過去の講座の様子
・申込
はこちら



「おかやま まなびとサーチ」は、県内の施設などを紹介する動画等を集めた楽しく学べるコンテンツサイトです。



さっそく学んで
みよう!サイトは
こちらから



これ教科書に
載ってた
やつじゃん

